2022年8月30日

厚生労働省記者クラブ

厚生日比谷クラブ

労政記者クラブ　　加盟社各位

「特養ホームにおける入居者のポリファーマシーと

　　　　　　　転倒リスクが想定される疾病における取組み」

公表についてのご案内

Ｕビジョン研究所　理事長　本間郁子

公益財団法人　Uビジョン研究所（理事長：本間郁子）は2006年の創設以来、高齢者が安心して安全に暮らすることができる施設を認証する事業や職員研修、虐待防止への取組みを主な事業として運営しています。認証「悠」取得施設では、利用者のQOLを高めるための取組みを積極的におこなっています。

　Uビジョン研究所は、2015年高齢者の安全薬物療法に関するガイドライン（編集：日本老年医学会発行）や厚労省発行のポリファーマシー対策の手順「始め方」「進め方」、2021年6月に公表された「介護施設内での転倒に関するステートメント」「介護施設内での転倒を知っていただくために国民の皆様へのメッセージ」を参考に、さらに救命救急センターから、「処方された多種類の薬を飲んで、その影響が出たと考えられる」など、薬の副作用による救急搬送も増えていることから、利用者のＱＯＬを高めるために、この課題に取り組みました。

　昨年、Ｕビジョン研究所が研修を実施した後、社会福祉法人生活クラブ風の村特養ホーム八街の看護主任を中心に、多職種、医師、薬剤師の連携と協力による一定の成果が得られています。

　取組みは2021年10月～2022年2月までの期間。視点を薬の服用に向け、多職種で検討した結果6種類以上（有害症状が出やすい）の薬を服用している人の数を32.98％から23.41％に減らすことができました。

　　　　　11種類から4種類（7種類）減薬できた人もいます。

　より多くの高齢者施設や介護事業所が薬の服用に関心をもち、高齢者の生活の質をたかめる支援ができるようになることを願っています。

|  |
| --- |
| 問い合わせ先  　➀社会福祉法人生活クラブ　生活クラブ風の村  特養ホーム八街  　　　施設長　石井　康司　電話　043－440－0301  ②公益財団法人　Uビジョン研究所　連絡先担当　　本間  メール：[u-vision@diary.ocn.ne.jp](mailto:u-vision@diary.ocn.ne.jp)  電話：03-6904-4611 |